

三河山間地域小規模高齢化集落調査の結果（概要版）

調査目的

長期的な人口減少と高齢化の進行により、集落機能の維持が困難化している集落も見られる状況にあることから、関係市町村と協力して、三河山間地域における集落の状況を把握するための調査を行うものである。

調査手法

- ① 三河山間地域の全ての集落の概況を把握。
【集落の区分】
 - ・ 行政区を原則。
 - ・ 行政区が他の市町村と比して著しく規模が大きい場合は必要に応じて分割し、同様に小さい場合は合体。
- ② 概況調査の結果をもとに、小規模（人口 100 人未満）かつ高齢化（高齢化率 50% 以上）集落については、さらに詳細な調査を実施。

調査期間

平成 19 年 12 月～平成 20 年 5 月

【三河山間地域】

岡崎市(旧額田町の区域)、豊田市(旧藤岡町・旧小原村・旧足助町・旧下山村・旧旭町・旧稲武町の区域)、新城市、設楽町、東栄町、豊根村

I 三河山間集落概況調査

- 三河山間地域には、518 の集落があり、人口 118,650 人。
- このうち、人口 100 人未満の小規模集落は、224 集落(43.2%)、人口 11,747 人(9.9%)。
- さらにこのうち、人口 100 人未満かつ高齢化率 50%以上の小規模高齢化集落は、51 集落(9.8%)、人口 1,827 人(1.5%)。
- 小規模高齢化集落は、長野県や岐阜県との県境付近を中心に分布し、比較的都市部に近い地域にも点在。

II 小規模高齢化集落実態調査

1 集落の規模・構成等

- 小規模高齢化集落（51 集落）の 1 集落あたりの規模は、35.8 人、15.3 世帯。
1 集落あたりの 65 歳以上の高齢者人口は、21 人（人口比 58.5%）。
〔内訳：75 歳以上 13 人（人口比 36.5%）、65 歳以上 75 歳未満 8 人（人口比 22.0%）〕
- 集落の形成形態について、集落の中心から半径 1 k m 圏に所在する住宅数の比率は、80%以上 46 集落、50%以上 80%未満 5 集落。

2 集落の生活環境

(1) 交通条件	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが 1 日 5 往復以上運行している集落は、4 集落に留まり、自家用車に頼らざるを得ない状況 ・最寄の郵便局への道路距離は平均 4.7 k m、食料品販売店舗へは平均 5.9 k m、市町村役場へは平均 8.2 k m
(2) 医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄の診療所等への自家用車によるアクセスは、道路距離平均 6.9 k m、所要時間平均 11.5 分 ・45 集落で、最寄の診療所の医師による往診を受けることが可能 ・51 集落全てで、最寄のデイサービス施設への送迎を受けることが可能
(3) 消防・救急	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡から、救急医療機関到着までの所要時間は、1 次救急医療機関で平均 39.8 分、2 次救急医療機関で平均 59.1 分、3 次救急医療機関で平均 97.6 分
(4) 保育・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校は、全ての集落でスクールバス等の交通手段がある ・保育園・幼稚園は 7 集落、高等学校は 4 集落で自家用車による送迎が必要
(5) 情報通信	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話が全域で受信可能なのは 23 集落 ・CATV への接続が全域で可能なのは 17 集落、これを含め、地上デジタル放送の受信が全域で可能なのは 22 集落 ・CATV 経由を含め、ブロードバンドへの接続が全域で可能なのは 30 集落
(6) 集落活動	<ul style="list-style-type: none"> ・共同で草刈りが行われているのは 28 集落、清掃は 30 集落 ・地域の神社等の祭礼が行われているのは 50 集落

3 集落が直面する課題

小規模高齢化集落（51 集落）の代表者等に、想定される集落の課題を 30 項目挙げてアンケートを実施したところ、特に深刻であるとの回答が過半数を占めた課題は、次のとおり。

- 獣害の発生・・・・・・・・・・・・・・・・・・39 集落（76.5%）
- 森林の荒廃・・・・・・・・・・・・・・・・・・30 集落（58.8%）
- 耕作放棄地の増大・・・・・・・・・・・・・・・・30 集落（58.8%）
- 災害時における相互扶助機能の低下・・29 集落（57.9%）
- 道路、農道、橋梁の老朽化・・・・・・・・・・28 集落（54.9%）